



BEVERLY WILSHIRE, A FOUR SEASONS HOTEL

ビバリーウィルシャー、ア フォーシーズンズ ホテル



「Beverly Wilshire, A Four Seasons Hotel」の正面ファサード。アメリカ・ロサンゼルス市のビバリーヒルズ、多くの高級ブティック店が立ち並ぶロデオドライブ近くに華麗な佇まいの歴史のホテルである。一世を風靡したハリウッド映画『プリティ・ウーマン』や『ビバリーヒルズ・コップ』の舞台となったことでも有名だ



正面玄関はロデオドライブ側にあり、館内に入ると眩いエントランスホールに目を奪われる。ハーシュ・ベドナー・アソシエーツ「HBA」がデザインを担当した壮麗な空間だ



当初ビバリーウィルシャーは、「Regent Beverly Wilshire」の名であったが、後にフォーシーズンズ傘下の「Beverly Wilshire, A Four Seasons Hotel」の名称となった



創業当時を物語る貴重なビバリーウィルシャーの記録写真。ホテルの歴史は古く、ビバリーヒルズのランドマークとして1928年に開業している



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト

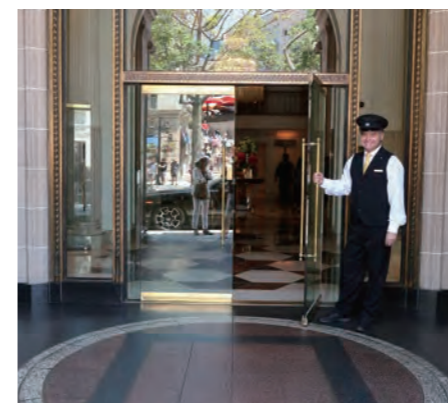
慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRC A、日本ホテルレストランコンサルタント
協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

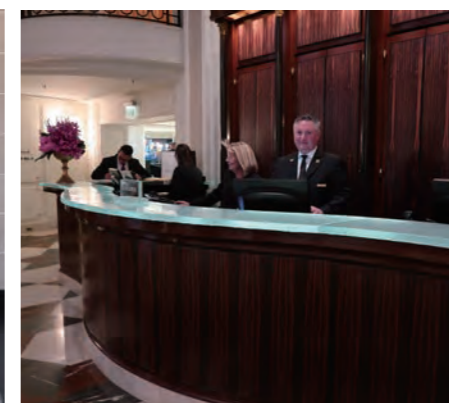
現在、筆者のホームページで
「世界のリーディングホテル」を連載中。
多くの美しい写真と興味深いコメントで、
世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



14階建ての新館「Beverly Wing」の全景。ビバリーウィルシャーは10階建ての重厚な旧館「Wilshire Wing」と新館「Beverly Wing」の2ウィングから構成されている



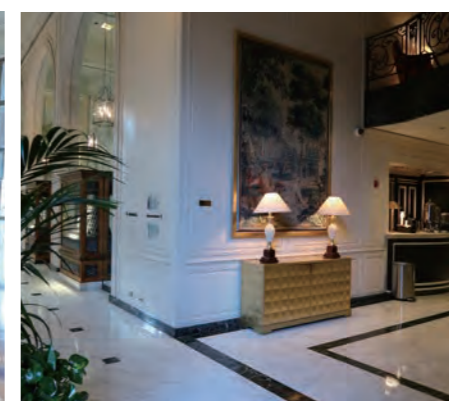
正面玄関には昔ながらの制服と制帽姿のドアマンが立つ



重厚なレセプションデスク



生花のプレゼンテーションが美しい。いかにもフォーシーズンズ傘下のホテルらしい



新館「Beverly Wing」のエントランスホール

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

Beverly Wilshire, A Four Seasons Hotel

アメリカ・ロサンゼルス市のビバリーヒルズ、多くの高級ブティック店が立ち並ぶロデオドライブ近くに華麗な佇まいの歴史のホテルがある。その名は「ビバリーウィルシャー、ア フォーシーズンズ ホテル」。一世を風靡したハリウッド映画『プリティ・ウーマン』や『ビバリーヒルズ・コップ』の舞台となったことでも有名だ。ビバリーウィルシャーは10



メインダイニング「THE Blvd」は地元のセレブリティたちの人気レストランで、バーラウンジ「THE Blvd Lounge」とテラス席「The Patio」を共有している



ディナータイムにはピアノの生演奏が入る



バーラウンジ「THE Blvd Lounge」のカウンター席



オープン前の早朝、静けさのスイミングプール。日中は華やかな雰囲気にぎわう



スパ施設「The Spa at Beverly Wilshire」にあるサロン。スパは新館「Beverly Wing」に位置する



旧館「Wilshire Wing」にあるコーナースイート「One-Bedroom Wilshire Suites」のリビングルーム。眼下にビバリーヒルズの街並みからハリウッドまで見渡せる気品あるスイートだ



「One-Bedroom Wilshire Suites」の落ち着いたベッドルーム



ゴージャスなバスルームのパウダーコーナー



ウィルシャー大通りに面したテラス席「The Patio」



「ロデオドライブ」"Rodeo Drive"とは、有名ブティックが軒を連ねる高級ショッピングストリートだ

階建ての重厚な旧館「Wilshire Wing」と14階建ての新館「Beverly Wing」の2ウイングから構成され、137のスイートを含む全395の客室を擁している。

ビバリーウィルシャーはリージェントホテルズの全盛期には「Regent Beverly Wilshire」と称していたが、リージェントがフォーシーズンズホテルズに組み込まれた後は「Beverly Wilshire, A Four Seasons Hotel」の名称を使用している。ホテルの歴史は古く、ビバリーヒルズのランドマークとして1928年に開業した。ハリウッドに近くロデオドライブに面した最高の立地とクオリティを兼ね備え、このホテルに宿泊した著名人や膨大な数になる。

ビバリーウィルシャーの正面車寄せは、「Wilshire Wing」と「Beverly Wing」に挟まれた空間にある。正面玄関はロデオドライブ側にあり、館内に入ると眩いエントランスホールに目を奪われる。ハーシュ・ベドナー・アソシエーツ「HBA」がデザインを担当した壮麗な空間だ。今回は旧館「Wilshire Wing」にあるコーナースイート「One-Bedroom Wilshire Suites」をご紹介したい。眼下にビバリーヒルズの街並みからハリウッドまで見渡せる気品あるスイートだ。メインダイニング「THE Blvd」は地元のセレブリティたちの人気レストランで、バーラウンジ「THE Blvd Lounge」とテラス席「The Patio」を共有している。その他、車寄せ側にある「CUT by Wolfgang Puck」はミシュラン1ツ星を持つステーキハウスで評価が高い。スパ施設「The Spa at Beverly Wilshire」は新館「Beverly Wing」にあり、スイミングプールは華やかな雰囲気できわっている。

「ロデオドライブ」"Rodeo Drive"とは、以前よりハリウッドのスターたちの御用達の有名ブティックが軒を連ねる高級ショッピングストリートだ。1990年公開の映画『プリティ・ウーマン』の主演リチャード・ギアとジュリア・ロバーツの好演により、さらにその知名度がアップし、最近では中国人観光客の姿が目立つようになった。ビバリーウィルシャーでの滞在は、やはり歴史の重みを感じさせる旧館「Wilshire Wing」がお勧めだ。近くにある「Peninsula Beverly Hills」(本誌、Vol.1参照)と組み合わせるのもリユクスな旅となろう。